

「生活者としての外国人」の

ライフステージ に寄り添う

地域 日本語教育 を考える

9月20日(月) 13:00~17:30 ZOOM 定員100名・無料

前半

「地域日本語教育にまつわる
施策から、求められる人材の
今とこれからを知っておこう

【登壇者】

- ・古橋広樹氏 (浜松市国際課)
- ・松井孝浩氏
(文化庁国語課日本語教育専門職)
- ・松本義一・半場和美
(NPO法人フィリピンナガイサ)

—パネルディスカッションします—

国や滞在年数が多様な外国人の、個々のライフステージに寄り添い、社会との接点をつくっていくのが、僕たちの役目だと思っています。なぜなら…



後半

海外の移民教育、
複言語・複文化主義についても
知っておこう

【登壇者】

松岡洋子氏
(岩手大学国際教育センター教授)

文化審議会国語分科会日本語教育
小委員会委員、自治体国際化協会
地域国際化アドバイザー、岩手県
防災委員、岩手県国際交流協会災
害時外国人対応アドバイザー

専門は日本語教育、移民政策、多
文化コミュニケーション、ドイツ、
韓国等の移民受け入れ施策を調査研究
街づくり、災害時等の多文化対応
について研修を担当

